

GMB株式会社

2021年3月期決算説明資料

証券コード 7214



<https://www.gmb.jp>

注) 本資料中、当社の業績等に関わる数値は、表示桁数未満切捨て記載しております。



I. 2021年3月期実績

II. 2022年3月期計画

III. 今後の対応

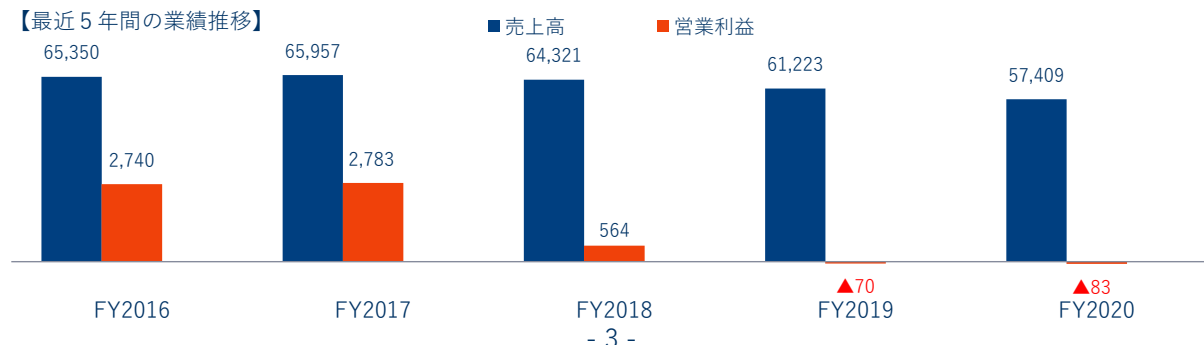
2021年3月期 損益実績



(単位：百万円・%)

	前期		当期		前期比	
	金額	(構成比)	金額	(構成比)	増減額	増減率(%)
売上高	61,223	(100.0%)	57,409	(100.0%)	▲ 3,813	▲ 6.2
売上総利益	9,222	(15.1%)	9,407	(16.4%)	185	+2.0
営業利益	▲ 70	(△0.1%)	▲ 83	(△0.1%)	▲ 13	-
経常利益	▲ 313	(△0.5%)	▲ 420	(△0.7%)	▲ 106	-
純利益	▲ 910	(△1.5%)	▲ 315	(△0.5%)	595	-
EPS(円)	▲ 174.21		▲ 60.05			

【最近5年間の業績推移】

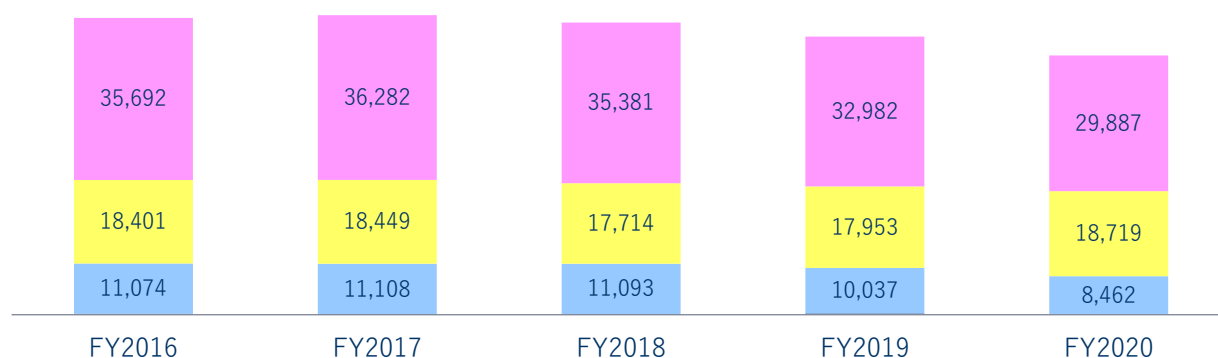
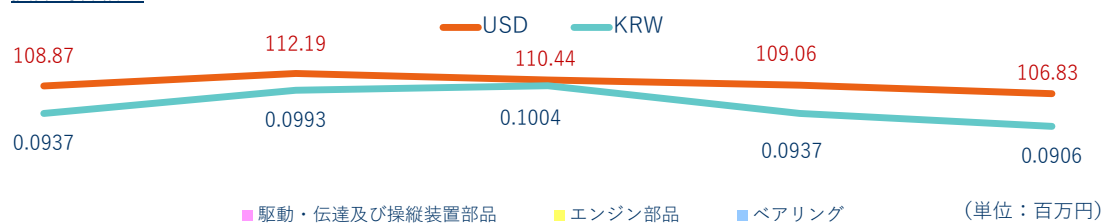


- 3 -

売上高の品目分類別実績推移



換算為替相場



駆動系は、欧州向けの新車用ユニバーサルジョイントや韓国の新車用バルブスプールなどの販売が減少した。エンジン部品は、韓国の新車用電動ウォーターポンプや米国の補修用ウォーターポンプなどが増加した。

セグメント実績推移①

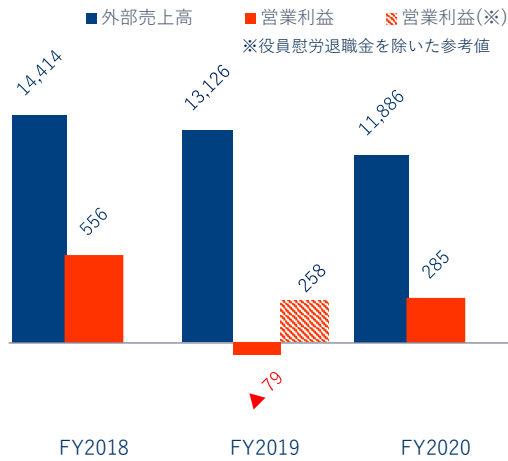
日本・米国



※セグメントはグループ各社の所在地による

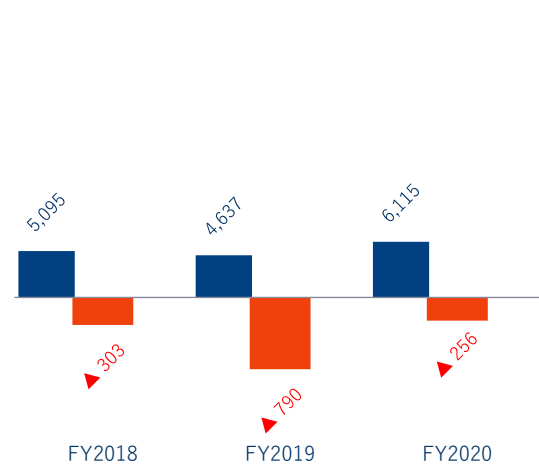
(単位：百万円)

日本



特に上半期において、各国のロックダウン等による経済活動停滞の影響を受け販売は減少したものの、当期は役員退職慰労金の影響が無いことに加えてコストダウン努力により増益。

米国



新型コロナウイルス感染拡大の影響が軽微であり販売が順調に推移した結果、増収。当期は前期に発生した売掛金や棚卸資産等の評価に伴う費用増加の影響が無いことや販売増加によって赤字幅は縮小。

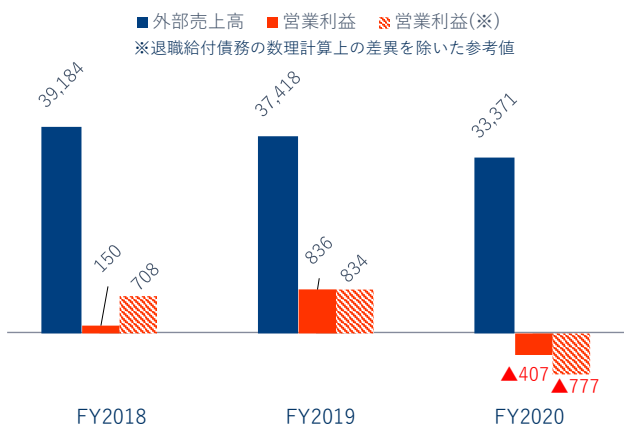
セグメント実績推移②

韓国・中国



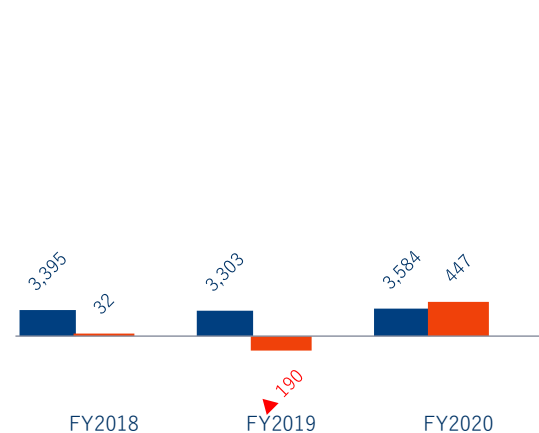
(単位：百万円)

韓国



電動ウォーターポンプの販売は前期を上回ったものの、上半期の需要減少により減収。利益面は、販売減少や販売価格の変動、新製品に係るコスト増の影響を、工場稼働一時停止や投資抑制等のコストダウン努力によって吸収できず赤字。

中国



2月は工場が一時稼働停止するも、その後は中国国内市場の自動車販売の回復や新規取引先への拡大によって増収。利益面は、販売の増加に加えて政府の公的経営支援やコストダウンによって黒字転換。

セグメント実績推移③ タイ・欧州

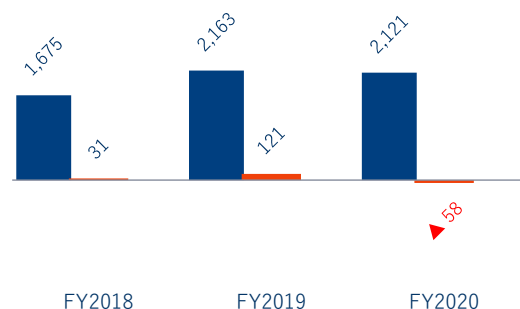
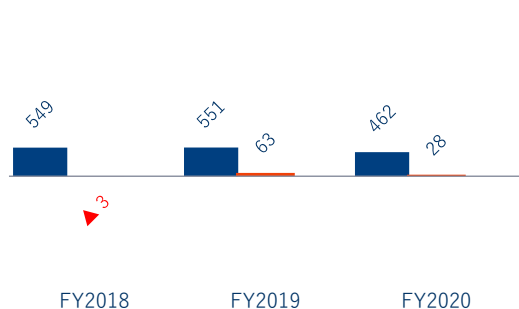


(単位：百万円)

タイ

欧州

■ 外部売上高 ■ 営業利益



タイ国内販売及び日本向けがともに減少し、減収減益。

ルーマニア工場は上半期に工場稼働一時停止したものの、下半期にかけて緩やかに回復し、増収。一方利益面は販売価格の変動を販売増加やコストダウンで吸収しきれず減益。ロシア工場は稼働一時停止の影響により販売減少し、赤字。

セグメント実績推移④ 豪州



(単位：百万円)

豪州

■ 外部売上高 ■ 営業利益



ロックダウン等の影響を受けて営業活動が制限された影響により赤字。

営業利益以下の増減要因



(単位：百万円)

	前期実績	当期実績	増減額
営業利益	▲70	▲83	▲13
営業外収益	501	668	167
（うち為替差益）	(-)	(413)	(413) ※1
（うち持分法投資利益）	(47)	(-)	(▲47) ※2
（うちデリバティブ評価益）	(92)	(-)	(▲92)
（うち受取保険料）	(80)	(-)	(▲80)
（うち貸倒引当金戻入）	(75)	(-)	(▲75)
（うち補助金収入）	(12)	(84)	(72)
営業外費用	745	1,006	261
（うち金融費用）	(643)	(489)	(▲153)
（うちデリバティブ評価損）	(-)	(391)	(391) ※1
（うち為替差損）	(8)	(-)	(▲8)
経常利益	▲313	▲420	▲106
特別利益	38	66	27
特別損失	264	141	▲122
（うち減損損失）	(227)	(81)	(▲146) ※3
税引前利益	▲540	▲496	43
法人税等	457	130	▲326 ※4
少数株主持分損益	▲87	▲311	▲224 ※4
純利益	▲910	▲315	595

※1
韓国子会社におけるデリバティブ評価損は、為替差益で相殺

※2
持分法適用会社の業績により変動

※3
前期は韓国と中国の一部工場の収益性低下によるもの。
当期は主に米国子会社の収益性低下によるもの。

※4
主に韓国子会社赤字の影響

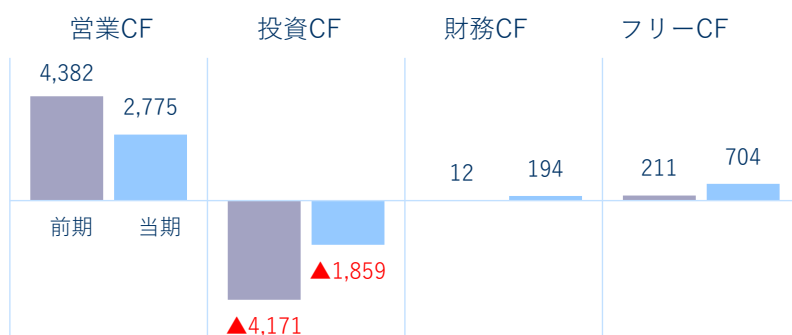
- 9 -

キャッシュフローの実績



(単位：百万円)

	前期	当期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	4,382	2,775	▲1,607
投資活動によるキャッシュフロー	▲4,171	▲1,859	▲2,312
財務活動によるキャッシュフロー	12	194	+182
フリーキャッシュフロー	+211	+915	+704



【 当期の主な内訳 】

- 営業CF
 - 税金等調整前利益 ▲496 百万円
 - 減価償却費 3,193
 - 売上債権の増加 ▲535
 - たな卸資産の増加 ▲62
 - 仕入債務の増加 129
 - 法人税の支払額 ▲109
- 投資CF
 - 設備投資 ▲2,631
- 財務CF
 - 借入金の減少 ▲61
 - 社債の増加 517
 - 配当金の支払い ▲104

- 10 -

I. 2021年3月期実績

II. 2022年3月期計画

III. 今後の対応

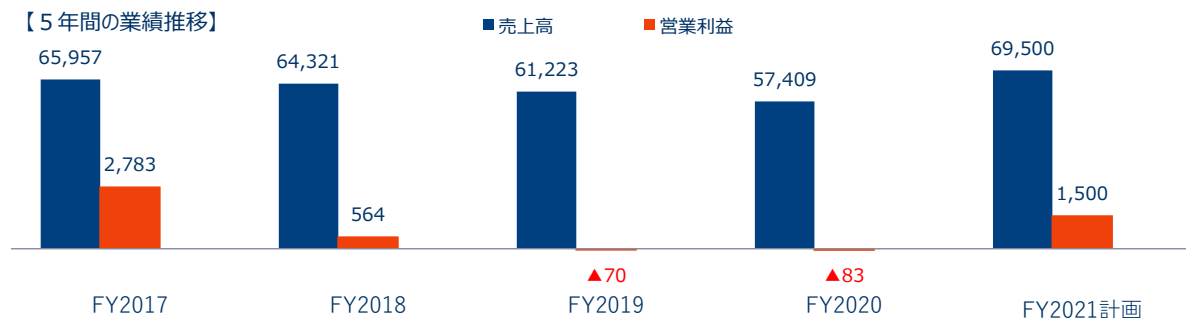
- 11 -

2022年3月期 損益計画

(単位：百万円・%)

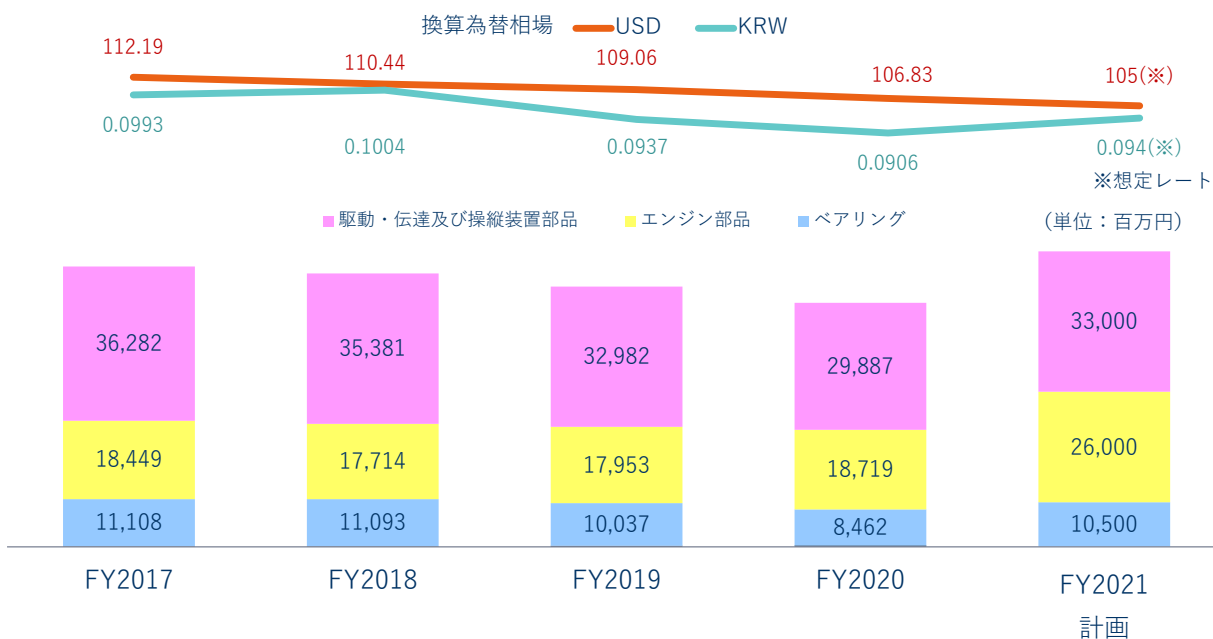
	当期実績		来期計画		前期比	
	金額	(構成比)	金額	(構成比)	増減額	増減率(%)
売上高	57,409	(100.0%)	69,500	(100.0%)	12,090	+21.1
営業利益	▲ 83	(▲0.1%)	1,500	(2.2%)	1,583	-
経常利益	▲ 420	(▲0.7%)	1,050	(1.5%)	1,470	-
純利益	▲ 315	(▲0.5%)	400	(0.6%)	715	-
EPS(円)	▲ 60.05		76.21			

【5年間の業績推移】



- 12 -

売上高の品目分類別計画



駆動系は、韓国の等速ジョイントや中国での新車用バルブスプールの増加を計画。エンジン部品は、韓国での新車用電動ウォーターポンプや米国での補修用ウォーターポンプの増加を計画。ベアリングは、日本や韓国の補修用を中心とした増加を計画。

セグメント計画① 日本・米国



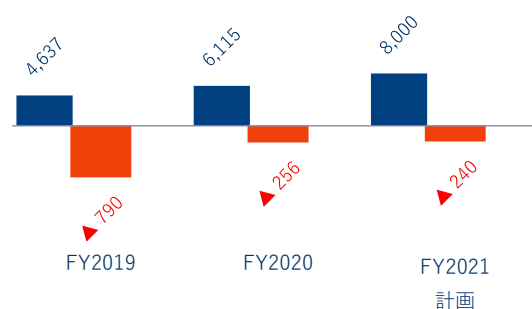
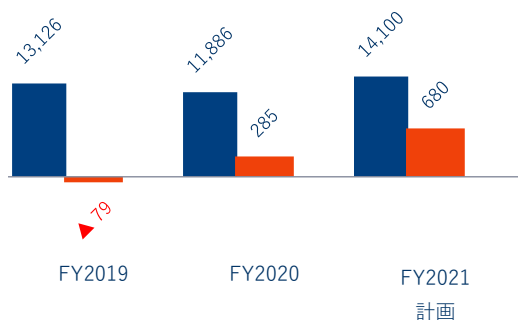
※セグメントはグループ各社の所在地による

(単位：百万円)

日 本

米 国

■ 外部売上高 ■ 営業利益



売上は、東南アジア向けなどの補修用部品や欧州向け新車用ユニバーサルジョイントの販売回復を見込む計画。また、販売増加やコストダウン等によって材料等の値上げや運賃・人件費の上昇を吸収し、増益の計画。

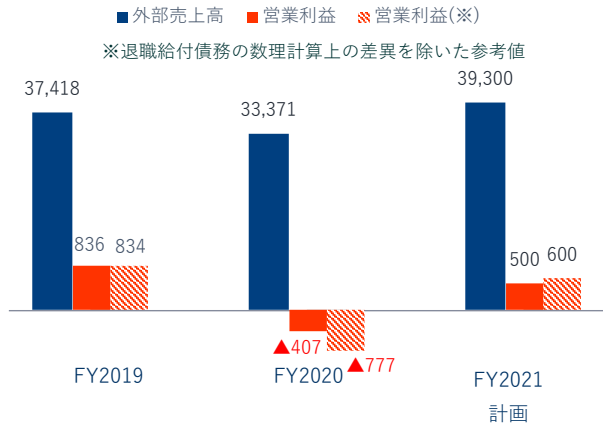
新規顧客の開拓や、新製品の販売により増収を計画。米国の対中輸入関税増加や物流関連のコストアップにより赤字継続の見込み。

セグメント計画② 韓国・中国



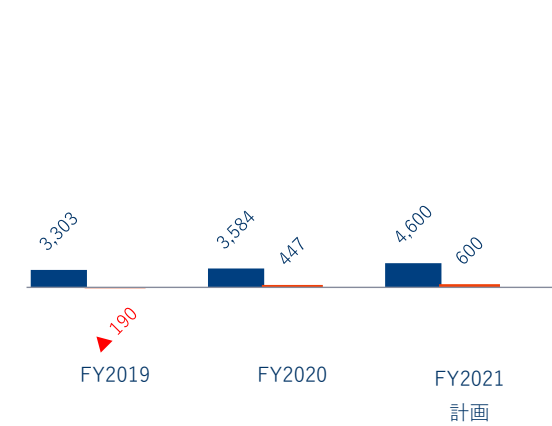
(単位：百万円)

韓国



韓国車及び日本車向けの電動ウォーターポンプ販売がけん引し、増収を計画。販売単価変動や調達コスト上昇に対して、販売増加やコストダウン努力などによって黒字転換を見込む。

中国



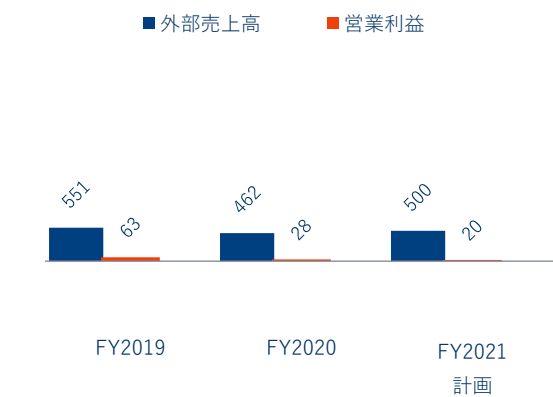
日本車向けの新車用電動ウォーターポンプ販売を下半期から開始することに加え、中国現地部品メーカー向けの販売が増加することで増収を計画。政府の公的支援が発生しないのは減益要因だが、販売増加とコストダウン等により増益を計画。

セグメント計画③ タイ・欧州



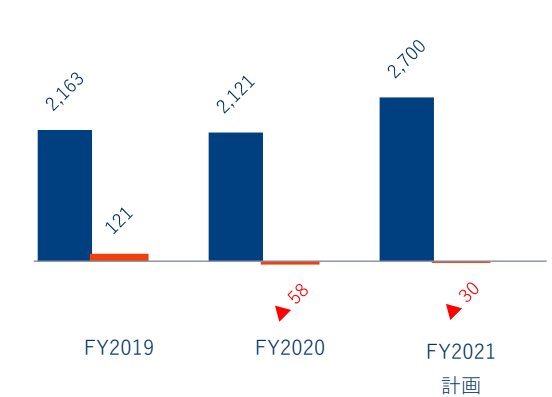
(単位：百万円)

タイ



タイ国内向けの補修用部品の販売増加を計画。販売は増加し、コストダウン努力も継続するものの、調達価格の上昇により減益を計画。

欧州



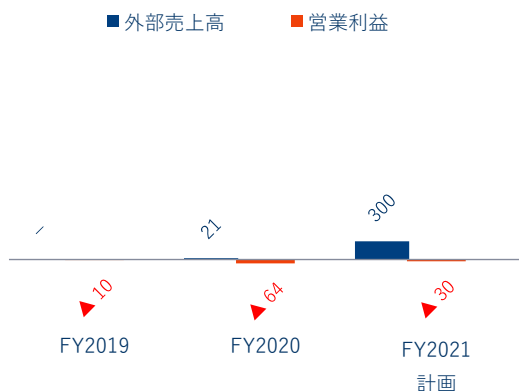
ルーマニア工場はルノー向けが引き続き好調で増収増益を計画。ロシア工場は新工場への移転コストが発生するため赤字を計画。

セグメント計画④ 豪州



(単位：百万円)

豪 州

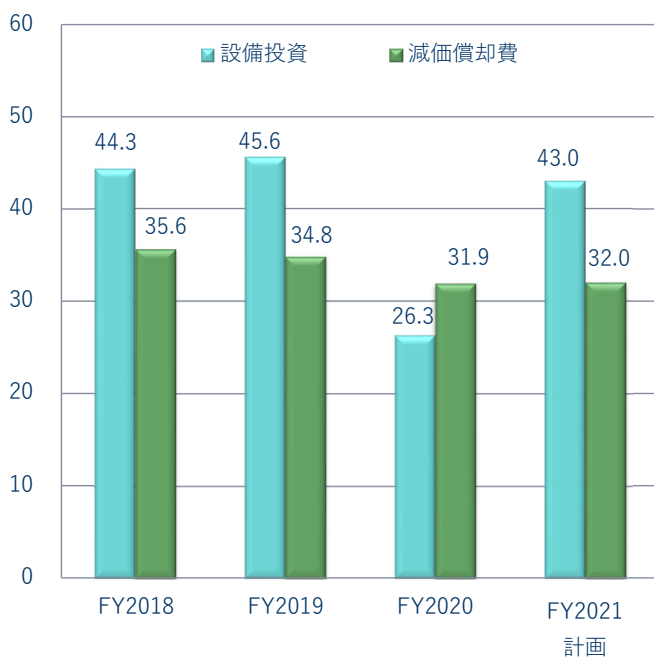


現地での新規顧客開拓や日本顧客の現地化により増収を計画。下半期は単月黒字化を計画。

設備投資・減価償却費



設備投資・減価償却費の推移



FY2021 設備投資計画の内訳

(単位：億円)

	投資額	主な内容
日本	8.0	維持・合理化
韓国	18.0	新規開発・増産等
中国	6.5	維持・更新等
タイ	4.0	維持等
欧州	6.5	増産・移転
計	43.0	

I. 2021年3月期実績

II. 2022年3月期計画

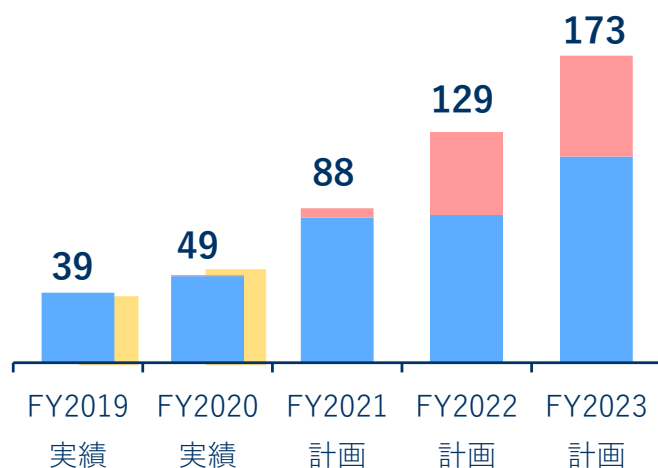
III. 今後の対応

- 19 -

今後の対応①-1 電動化対応

電動化対応製品の販売実績と計画

■ ITM ■ EWP ■ 計画値 単位:億円



▶ 電動ウォーターポンプ(EWP)

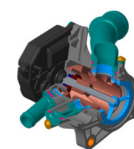
- ・受注堅調
- ・投資回収フェーズ入り

▶ 統合熱管理モジュール(ITM)

- ・受注活動本格化
- ・生産ライン増設中



EWP



ITM

今後の対応①-2 電動化対応



電動化対応設備投資計画

- ▶ 韓国子会社において、2021年からの5年間で約600億ウォン(約57億円)を投資
- ▶ 電動化対応製品の生産能力増強及び新製品の開発能力を強化

単位:億円

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	計
投資金額*	8	11	16	14	9	57
電動化製品販売計画	88	129	173	計画中	計画中	-

*上記投資金額には、下記の公的支援金額が含まれています。



TOPICS 電動化対応投資に対する公的支援獲得

- ▶ 韓国政府及び地方自治体から約130億ウォン(約12億円)の資金援助を獲得

- 21 -

今後の対応② ロシア工場移転



概要

- ▶ 韓国系顧客社ロシア工場向け機械式ウォーターポンプの受注対応のため
- ▶ 生産ライン等に約3億円を投資。生産能力を強化し、既存顧客との生産を集約
- ▶ 2021年上半期に工場移転後、2021年下半期に量産開始を計画

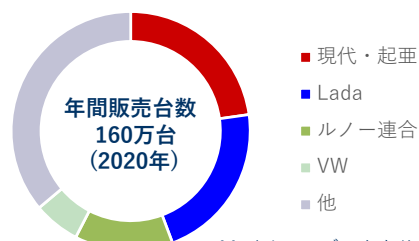
単位:億円

	2020年実績	2021年計画	2022年計画	2023年計画
売上高	1	3	15	17

- ▶ 新工場外観(工事中)



TOPICS ロシアのブランド別新車販売シェア



Mark Linesデータより作成

- 22 -

- 将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- 本資料および当社IRに関連するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

<お問い合わせ先>
GMB株式会社 経営企画部
電話 : 0745-44-1912
Email : ir@gmb.jp

GMB株式会社

事業内容説明資料 (2021年3月期)

(証券コード : 7214)

<https://www.gmb.jp/>

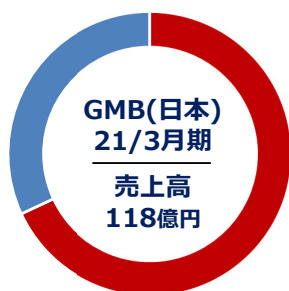
注) 本資料中、当社の業績等に関わる数値は、表示桁数未満で切捨して記載しております。



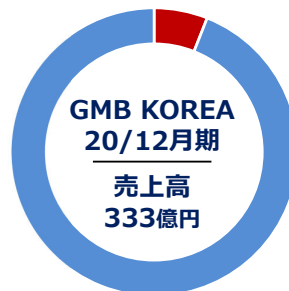
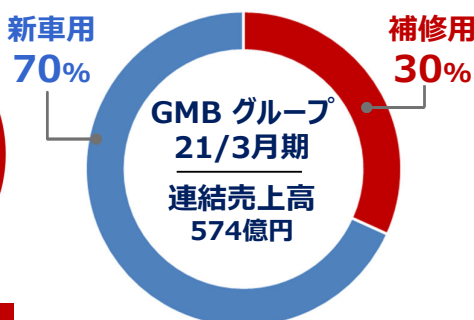
GMBグループの概要

商号	: GMB株式会社	売上高	: 57,409 百万円 (単体 13,283 百万円)
創業	: 1943年 (昭和18年)	営業利益	: ▲83 百万円 (単体 ▲408 百万円)
代表取締役社長	: 松波 誠	総資産	: 63,612 百万円 (単体 20,352 百万円)
従業員	: 2,685名 (単体 316名)	純資産	: 27,596 百万円 (単体 11,744 百万円)
所在地	: 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3		
事業内容	: ユニバーサルジョイント、ウォーターポンプなどの自動車部品製造・販売		
グループ会社	: 13社 / 韓国③ (6工場・研究所)、米国① (2拠点)、中国④ (3工場・1拠点)、タイ② (2工場)、ロシア①、ルーマニア①、蒙州①		

日韓GMBを主体に補修用部品と新車用部品に取組む独立系自動車部品メーカー



補修用部品主体



新車用部品主体



GMBグループの拠点と歴史



- 1943 (昭和 18) 年 :大阪市生野区で「松岡精工所」創業
- 1962 (昭和 37) 年 :株式会社浪速精密工業所設立
- 1976 (昭和 51) 年 :米子会社設立
- 1979 (昭和 54) 年 :韓国子会社設立
- 1983 (昭和 58) 年 :奈良工場 (現本社) 建設
- 1989 (平成 元) 年 :GMBに社名変更
- 1996 (平成 8) 年 :中国子会社 (青島GMB) 設立
- 2001 (平成 13) 年 :タイ子会社設立
- 2004 (平成 16) 年 :大証二部上場
- 2006 (平成 18) 年 :中国子会社 (即墨GMB) 設立
- 2009 (平成 21) 年 :タイ関連会社 (TKG) 設立
- 2012 (平成 24) 年 :韓国子会社が韓国証券取引所上場
- 2013 (平成 25) 年 :中国子会社 (杭州GMB) 設立
- 2013 (平成 25) 年 :韓国子会社 (AG TECH) 設立
- 2013 (平成 25) 年 :中国子会社 (南通GMB) 設立
- 2014 (平成 26) 年 :ロシア子会社設立
- 2014 (平成 26) 年 :ルーマニア子会社設立
- 2017 (平成 29) 年 :韓国子会社 (GMB ELPIS) 設立
- 2019 (令和 元) 年 :豪州子会社設立



GMBの主要取扱製品

15%

ベアリング他
 テンショナー&アイドラー・産業用



52%

駆動・伝達・操縦装置用部品

ユニバーサルジョイント 等速ジョイント



バルブスプール

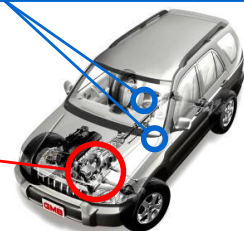
サスペンション



33%

エンジン部品

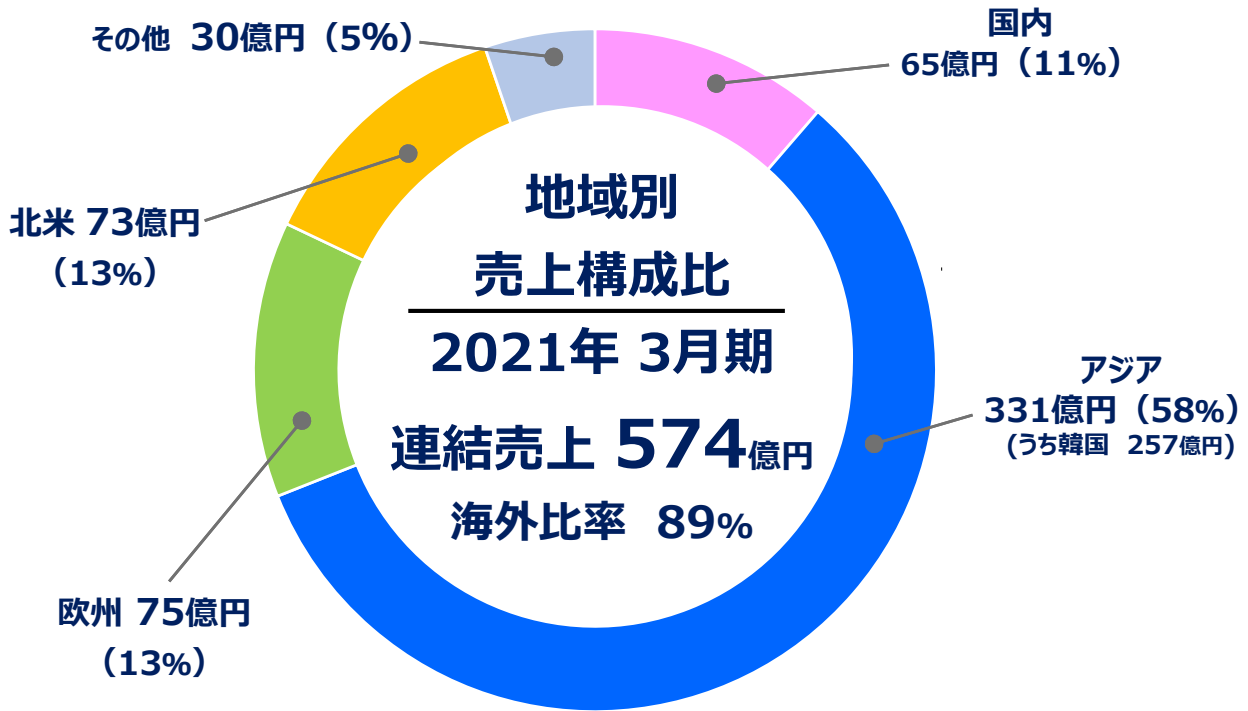
ファンクラッチ ウォーターポンプ 電動ウォーターポンプ



生産・販売ともにグローバルに展開 ①

販売は海外中心

(単位：億円)

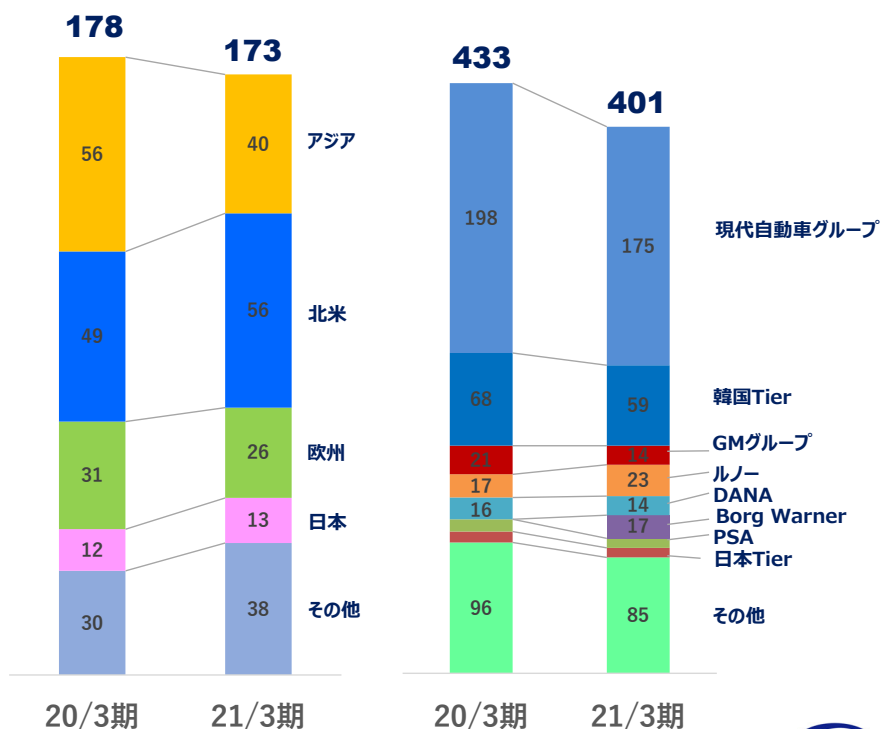
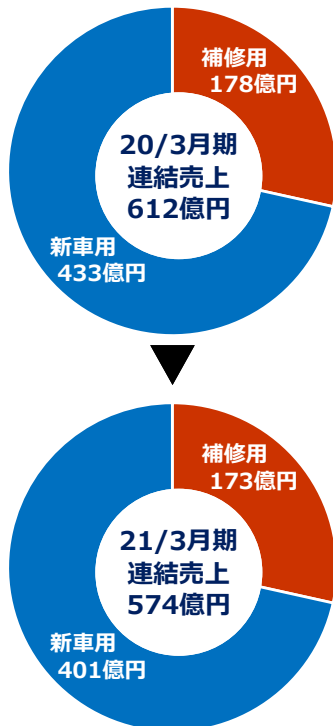


生産・販売ともにグローバルに展開 ②

補修用部品(地域別)

新車用部品(得意先別)

(単位：億円)



生産・販売ともにグローバルに展開 ③

